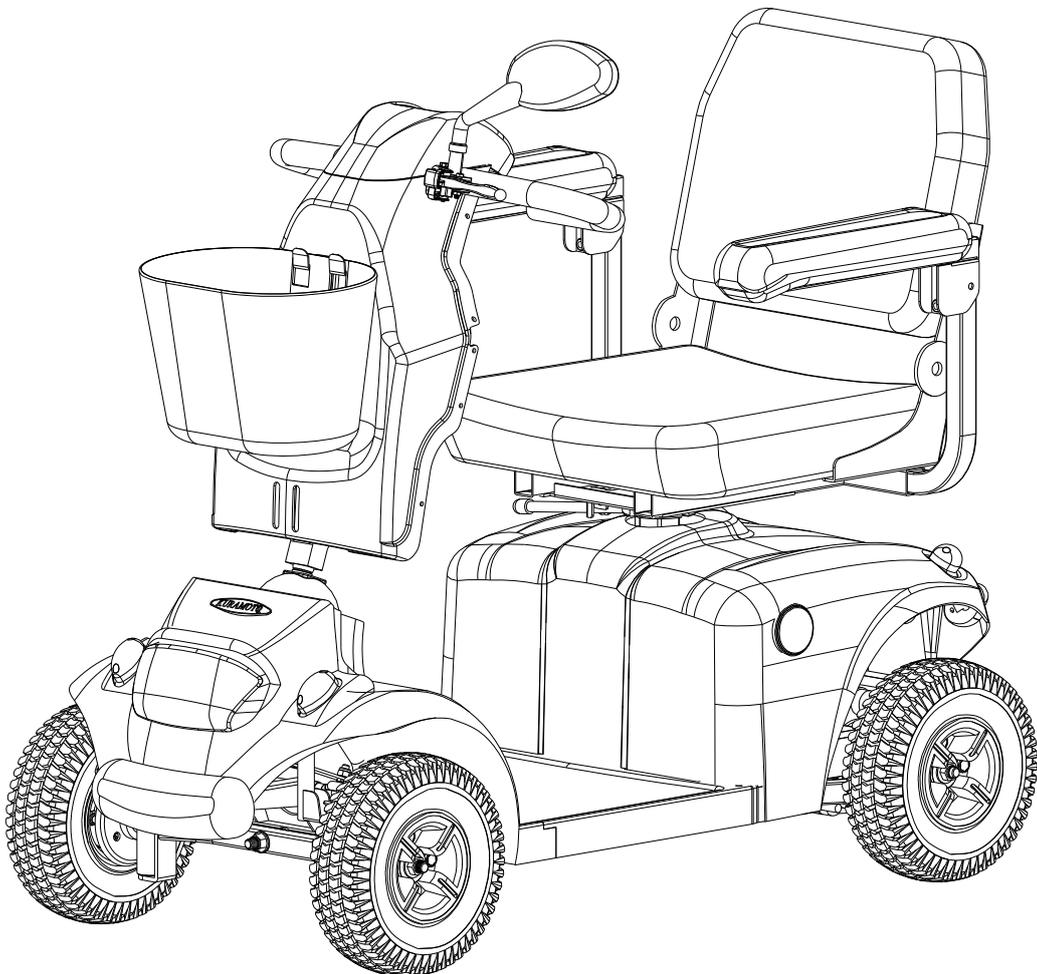


シニアカー

FR168-4S2bJ

取扱説明書



株式会社クラモト

この度はクラモトシニアカーをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、ご本人様および介助の方は必ずこの取扱説明書をお読み下さい。
取扱いを誤ると、事故または故障の原因になります。
良くご理解いただき、いつまでも安全・快適にご使用ください。

安全に使用するための規則

以下の、これらのシンボルマークは、警告と注意を識別するために、このユーザーマニュアルの中で表記、使用されている。それらを読み、理解して頂くことが非常に重要です。



警告： 取扱いを誤ると、死亡または重大な傷害を生じる可能性が想定される内容です。



注意： 取扱いを誤ると、傷害を負う可能性がある、または物的損害の発生が予想される内容です。

- 本書はシニアカーの取扱い、装備の説明、万一の時の処置などについて説明しています。
- 本書には保証整備の記録簿と保証書が添付されています。取扱説明とあわせて良くお読みください。
- シニアカーをお譲りになる場合には、この取扱い説明書も忘れずにお渡しください。
- 装備品の装着などにより、法令で定める電動車いすの最大寸法（全長 1200 mm、全幅 700 mm、全高 1090 mm）を超えた状態で走行する場合は、所轄の警察署への届け出（署長の確認）が必要です。詳しくは購入店へご相談ください。
- 仕様の変更等により、本書と一致しない場合があります。予めご了承ください。
- ご不明な点が有りましたらクラモトシニアカー取扱店へお問い合わせ下さるようお願い致します。

目次

| | |
|----------|-------|
| 各部の名称 | 4、5 |
| 運転の前に | 6 |
| 運転時の注意 | 7、8 |
| 使用上の注意 | 8、9 |
| 操作方法 | 9～11 |
| 表示パネルの見方 | 11 |
| 運転の仕方 | 11～13 |
| 日常点検表 | 14 |
| 点検整備項目 | 15 |
| 困った時は | 16、17 |
| 回路図 | 17 |
| 諸元表 | 18 |
| 保証書 | 19、20 |
| 保証登録票 | 21 |

各部の名称







運転の前に

シニアカーを安全に操作するためには、使用者には身体機能がある程度必要です。

もし、使用者が両手、両腕が上手く動けず、バランスが上手にとれない場合は事故につながる恐れがあります。

クラフトシニアカーは、室内、ショッピングセンター、屋外の舗装された道路等をゆっくりと走行する場合に適しています。傾斜角度 10 度の坂道の登坂及び 5 センチメートル程度の高さの縁石を超える事は安全に走行できます。シニアカーは、激しい雨、深い雪、滑りやすい路面、斜面、濡れた芝生、他の歩行者の迷惑になる場所では使用しないで下さい。



注意：シニアカーは歩行者

・シニアカーは道路交通法では「歩行者」として扱われ、運転免許は必要ありません。

「歩行者」として交通ルールやマナーを守ってください。

・歩道や横断歩道を通り、歩道のない所は右側通行してください。横断歩道では一時停止して安全を確認してください。

・歩道が途切れた場所や通行できないためやむを得ず車道に出るときは、車や段差に充分注意して下さい。

・斜め横断はしないでください。渡り切るのにより時間が掛かるため、他の交通のさまたげになる事があります。

・混雑している場所は避けるようにしてください。

・飲酒、疲労時の運転はしないでください。

・夜間の走行は、できるかぎり避けてください。



注意：ご使用前の練習について

・走行または取扱いに慣れるまでは公園などの安全な広い場所で練習し、発進、停止、旋回、後進などの感覚を覚えてください。

・練習開始の際は速度調節ダイヤルを「2」に設定してください。

・安全な広い場所で練習する場合でも周りの人や物にぶつからないように注意して下さい。

・初めて道路に出るときは介助者と一緒に安全を確かめながら走行してください。



警告：シニアカーは一人乗り

シニアカーは一人乗りです。二人乗りはしないで下さい。

シニアカーはお体の不自由な方の移動手段です。本来の目的以外には使用しないでください。



注意：荷物のけん引はしない

・荷物のけん引には使用しないでください。

・使用車最大体重（積載物を含む）は130kgです。この重量を超えて使用すると故障や破損の原因になります。

・バスケットへの積載限度は3kgです。積載限度を超えて使用しないでください。



警告：重量限度を越えて車両を運転しないで下さい。制限を超えた場合、保証は無効になります。重量制限を超えた場合、これに起因する人身事故、物的損害について弊社は責任を負いません。

日常点検を確実に

・走行する前には必ず日常点検を行ってください

運転時の注意



警告：シニアカーから身体をはみ出さないでください。バランスを崩し、転倒するおそれがあります。



注意：運転する際はシートに深く腰をかけて座り、立ち上がったりにしないでください。

- ・運転する際は車輪に巻き込まれたり、運転の支障となるような服装は避けてください。
- ・積載物などが車輪に巻き込まれないように注意して下さい。

警告：電波により、シニアカーが正しく操作できなくなる恐れがあります。製品は日常生活で使用できるように設計されていますが、ラジオやテレビ放送、トランスミッター、携帯電話の影響を受ける可能性があります。動作が不安定になるのを防ぐために、以下をお読み下さい。

1. 運転中にラジオや携帯電話を使用しない。
2. ラジオ・テレビ局に近づかない。
3. 動作が不安定になったら、速やかに電源を切る。



注意：上記の影響を完全に避けることはできません。



注意：走行中は携帯電話などの通信機器を使用しないでください。使用するときは安全な場所に停止し、シニアカーの電源を「切」にしてください。

- ・携帯電話や無線通信機器などの電源をシニアカーからとらないでください。



警告：次のような場所では接触や衝突、転倒のおそれがあります。運転を避けるか、介助者に同行してもらい、安全確認や脱輪予防をして下さい。

- ・混雑している場所、交通量の多い道路
- ・幅の広い道路の横断歩道
- ・踏切
- ・電車などの乗り物に乗るときなど
- ・防護柵の無い側溝や路肩付近
- ・脱輪などで動けなくなった場合には、無理に自走で脱出しようとせず、周囲の人の助けを借りてください。



警告：次のような場所や状況での走行は避けてください。転倒や故障の原因となります。

- ・急な坂道
- ・急な傾斜面での横断
- ・下り坂での後進や中高速走行
- ・重量オーバー
- ・大きな溝や段差
- ・降雨や濃霧、強風等の悪天候時
- ・ぬかるみや雪道凍結路面等の悪路



警告：蛇行運転、急旋回、急発進、急制動は避けてください。



注意：踏切を横断するときは次の点に注意してください

- ・介助者に同行してもらい、踏切の手前で一時停止して安全確認の後、線路の溝にはまらないよう、線路に対して直角に横断して下さい。

・踏切内で停止しないよう速やかに横断して下さい。



警告：踏切内で動かなくなったときの対応

・踏切内でうごかなくなったときには、介助者や近くの人に協力してもらって手押し移動して下さい。（クラッチ操作）

・万一、踏切内から脱出できない様な最悪の場合には介助者や近くの人に協力してもらって、踏切に設置されている非常ボタンを押して下さい。



警告：シニアカーでのエスカレーターの使用や、階段の昇り降りはやめてください。転倒する恐れがあります。



警告：坂道や斜面での走行は以下の事項を必ず守ってください。

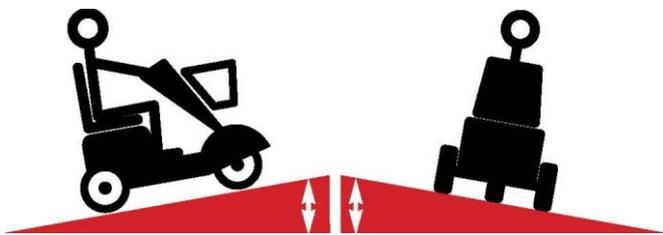
・急な坂道に走行は転倒などの事故につながりますので避けてください。走行できる目安は登坂降坂の目安は10°です。

・坂道は上り下りともまっすぐゆっくりと走行して下さい。

・坂道を後ろ向きに降りると、転倒する恐れがあります。必ず前向きになって降りて下さい。

・急な傾斜面の横断は避けてください。横転するおそれがあります。

・傾斜面を横断するときは身体を斜面山側に傾けてバランスを取ってください。



上りは最大10°まで、傾斜は最大6度迄が安全の範囲です。



警告：段差の通過方法

・大きな段差の通過は避けてください。安全に通過できる段差の目安は5cmです。

・段差を通過するときは、両手でハンドルをしっかり握り、段際に対して直角に前進走行して下さい。



注意：坂道や溝の停止方法

・下り坂では速度調節ダイヤルを“2”に調節して前進で慎重に降りてください。

・坂道の途中で停止したままにしないで下さい。介助者がいても同じです。

・大きな溝は脱出できなくなるおそれがありますので通過を避けてください。通過できる溝の目安は12cmです。

・溝を通過するときは両手でハンドルをしっかり握り、溝に対して前進で直角に走行して下さい。

使用上の注意



注意：バッテリーの取扱い

・バッテリーの周囲温度が-10℃以下の低温や40℃以上の高温での使用または保管をしないで下さい。バッテリーが凍結したり過熱したりして早期劣化の原因となります。

・バッテリーの周囲温度が0℃以下の低温、30℃以上の高温では充電しないで下さい。破損や早期劣化の原因となります。



注意：修理、改造について

・不適切な修理や改造は事故や故障の原因となります。修理が必要な場合は購入店までご相談ください。



警告：その他の留意事項

- ・故障や異常があるときは使用しないで下さい。重大事故につながる恐れがあります。
- ・ハンドルやアームレストなどに物を引っかけないで下さい。転倒事故の原因となります。
- ・バックしながら急停止しないで下さい。転倒事故の原因となります。



注意：その他の留意事項

- ・シニアカーが身体に合わない場合は使用しないでください。
- ・火気の近くにおかないで下さい。カバーやシート、タイヤ等が燃え、火災の原因となります。

操作方法

1. シートロックレバー

座席が回転し、正面及び乗り降りしやすい位置（左右 90°）でロックすることが出来ます。座席を回転するにはレバーを上引き上げてください。走行するときには前方に向かった位置でロックします。固定する位置でレバーから手を離し、軽く左右に動かしてみてもカチッとロックされた事を確認して下さい。



警告:シートが前方にロックされないまま走行すると重大事故につながる恐れがあります。走行前に必ず確認して下さい。

2. 電磁クラッチレバー操作

故障時や、車庫内での移動など、モーター駆動を使わずに、手押しで動かす時に解除します。（通常はロックです）レバーを上あげると解除され下に下げるとロックされます



警告:解除するときには必ず平坦路で行い、手動ブレーキをかけた状態で行ってください。



警告:坂道などで電磁クラッチを解除したまま走行しないで下さい。大変危険です。

警告:電磁クラッチを解除したまままたま座席に座ってはいけません。



3. 電源スイッチ

キーを差し込み回転させると電源の入切操作が出来ます。キーを差し込み、右へ回すと電源が入り、左へ回すと電源が切れます。切の状態ではキーを抜く事ができます。

電源を入れてから15分ほど停止していると、バッテリーの電力を保つため、自動的にスリープモードへと移行します。シニアカーを再び動かす時は、一旦スイッチを切って、再度スイッチを入れて下さい。



4.速度調節ダイヤル

最高速度を1km/h~6km/hの間で任意に調節できます。ダイヤルを左に回せば遅くなり、右に回していけば速度を増加させることができます。

- ・転倒防止の為ハンドルを左右に切った状態で自動的に減速します。
- ・後進の最高速度は3km/hです。
- ・上り坂や障害物等で勢いが足りない時には速度調整ダイヤルを上げて下さい。
- ・下り坂は2km/h以下でゆっくり下って下さい。



5.前後進切替スイッチ

前後に操作すると前進・後進の切り替えが出来ます。

- ・スイッチが「後退」の位置の場合は警告ブザーが断続的に鳴り続けます。



6.アクセルレバー

走行するときはアクセルレバーを押し下げます。レバーの押す加減で速度を調節してください。

レバーから手を離すと自動的に電磁ブレーキが掛かります

- ・安全の為、アクセルレバーを強く握り込むと安全装置が作動して緊急停止します。通常はアクセルレバーを戻して停止して下さい。



7.手動ブレーキ

ブレーキレバーを手前に引くと、前輪の機械式ブレーキが掛かります。手押しで動かしている時に使用して下さい。

ブレーキストッパーを掛けると前輪の機械式ブレーキを掛けておくことができます。

- ・電磁クラッチがロックされ、電源が入っている時には機械式ブレーキと電磁ブレーキが同時に作動し、緊急停止します。通常走行時は使用しないで下さい。



8.前照灯スイッチ

スイッチを左側に押すと前照灯(ヘッドライト)が点灯します。消す時は右側に押して下さい。

9.非常停止灯スイッチ

スイッチを押すと非常停止灯(ハザードランプ)が点滅します。消す時はもう一度押して下さい。

10.ホーンスイッチ

スイッチを押すと押ししている間ホーン(クラクション)が鳴ります。

11.方向指示器スイッチ

スイッチを左右どちらかに倒すと、倒した側の方向指示灯(ウインカー)が点滅します。消す場合は中立に戻して下さい。



表示パネルの見方

1. 各LED表示ランプ

- ① 電源ランプ：電源が入っている時に点灯します
- ② 減速表示ランプ：ハンドルを切って曲がる時など、自動減速機能が作動している時に点灯します
- ③ 方向指示機表示ランプ：左右の方向指示灯と同時に点滅します



2. バッテリー残量表示

バッテリーの残量に応じて向かって右から順に消えていきます。緑のランプが全て消えて黄色のランプまで差しかかったら早めに充電して下さい。赤の所まで来ると走行中に停止する恐れがあり、バッテリーの寿命にも影響を与えますので至急充電して下さい。



運転の仕方

走行の前に

- ・シートが前方に固定されているか確認して下さい。
- ・電磁クラッチがロックされている事を確認して下さい
- ・手動ブレーキが解除されている事を確認して下さい

- ・バックミラーで後方確認できるように調節して下さい
- ・キースイッチで電源を入れ、バッテリー残量計を確認し、必要であれば充電して下さい。

発進、走行

- ① 前後左右の安全を確認します。
 - ② アクセルレバーをゆっくり押し下げます。
- ・走行中は速度調節ダイヤルを操作しないで下さい。
 - ・走行中は電源を切らないで下さい。
 - ・下り坂では速度調節ダイヤルを「2」にして走行して下さい。

0～2：ゆっくり歩く程度、下り坂

2～4：普通に歩く程度、平坦での走行

4～6：速足で歩く程度、安全で広い場所

- ・カーブ走行時はハンドル角度に応じて自動的に減速します

停止及び駐車

- ① アクセルレバーを戻すと自動的に電磁ブレーキが掛かります。
- ② 駐車するときは周囲に迷惑のかからない場所に停車して下さい
- ③ 電源スイッチを切にしてキーを抜きます



充電の仕方

- ① 電源スイッチを切ります
- ② 付属の充電器の充電プラグをシニアカーの充電差し込み口にしっかりと差し込み、片方のプラグを家庭用のAC100Vコンセントに差し込んで下さい。

※必ず車体側から差し込んで下さい。逆にすると故障の原因になります。



- ③ 充電が開始されると2個のLEDランプのうち1つが赤、もう一つが黄色に点灯します

- ④ 黄色のLEDランプが緑になったら充電完了です。



- ・充電時間はバッテリーの状況、または気温にもよりますが概ね 2 ～ 8 時間です。
- ・充電は雨が当たったり、水の掛からない場所で行ってください。
- ・充電は密閉された部屋で行わず、換気のよい場所で行ってください。
- ・充電器をカゴの中に入れてそのまま走行しないで下さい。故障の原因になります。
- ・電源プラグを抜くときは、コードを持たず電源プラグの先端を持って抜いて下さい。
- ・バッテリー残量が少ない状態で長期間放置するとバッテリーの寿命を著しく縮めますので、ご使用後はこまめに充電して下さい。
- ・バッテリーは電源スイッチを切った状態でもわずかに自己放電しますので、ご使用に関わらず 1 カ月に 1 度は充電し、満充電を保つようにして下さい。
- ・充電器の側面にある換気口を塞がない。充電器が過熱する恐れがあります。
- ・充電器は屋内でのみ使用して下さい。雨天時や湿気の多い場所での使用は避けて下さい。
- ・充電中、バッテリーの付近で喫煙しないで下さい。また、火気は避けて下さい。
- ・必要な場合を除き、延長コードを使用しないで下さい。火災や感電の原因になります。
- ・充電器のコードが傷ついている場合は使用を避け、担当者にお渡し下さい。
- ・充電器を分解したり、物をぶつけたりしないで下さい。内部には危険な部品が存在します。
- ・充電が終わるまで、電源を切ったりプラグを抜いたりしないで下さい。充電器を接続したままシニアカーを運転することはできません。

ブレーカースイッチ

脱輪や障害物などで、一定以上の過大な負荷が10秒以上掛かった場合に自動的にブレーカースイッチが働き、電源が遮断されます。

再び走行する場合は、負荷の原因を取り除いた後、一旦電源スイッチを切り、1分ほど待ってから透明なボタンカバーの上からボタンを押しこんで復帰します。復帰しない場合は故障が考えられますので販売店にご相談ください。



日常点検表

| | |
|-----------------|-----------------------|
| ハンドル | 緩み・ガタはありませんか？ |
| | 左右ヘスムーズに動きますか？ |
| 前後切り替えスイッチ | 正常に作動しますか？ |
| 最高速度設定ノブ | 正常に作動しますか？ |
| アクセルレバー | 押し下げると走行し、戻すと停止しますか？ |
| モーター | モーターの回転音に異常はありませんか？ |
| 電磁ブレーキ | 電磁ブレーキは作動しますか？ |
| 手動ブレーキレバー | ブレーキは効きますか？ |
| | レバーの遊びと手応えは適切ですか？ |
| 電磁クラッチ操作 | 正常に作動しますか？ |
| バッテリー残量計 | ランプが点灯しますか？ |
| | (バッテリーの残量は充分ですか？) |
| ホーン | ホーンは鳴りますか？ |
| 方向指示器 (ウインカー) | 各ランプは点灯しますか？ |
| | 汚れ・損傷はありませんか？ |
| 前照灯 (ヘッドライト) | ランプ点灯しますか？ |
| | 汚れ・損傷はありませんか？ |
| 非常点滅灯 (ハザードランプ) | ランプは点滅しますか？ |
| | 汚れ・損傷はありませんか？ |
| シート | シートレバーは正常に作動、ロックしますか？ |
| 反射器 | 汚れ・損傷はありませんか？ |
| バックミラー | 汚れ・損傷はありませんか？ |
| タイヤ | 亀裂・損傷はありませんか？ |
| | タイヤの溝の深さは適切ですか？ |
| | 金属片・石等の異物がささっていませんか？ |
| その他 | 異常な音はしませんか？ |
| | |

点検・整備項目

| 点検整備項目 | | 点検整備時期 | |
|---------------|---------------------|--------|-----|
| 点検箇所 | 点検項目 | 新車 | 1年毎 |
| 操作ボックス | アクセルレバーの作動、戻り具合 | | |
| | スイッチの作動具合 | | |
| | コネクタ-接続部の緩み、損傷 | | |
| メインコントロールローラー | コネクタ-接続部の緩み、損傷 | | |
| モーター・電磁ブレーキ | 回転・異音 | | |
| | 電磁ブレーキのきき具合 | | |
| | コネクタ-接続部のガタ・損傷 | | |
| バッテリー | ターミナル締付け・腐食 | | |
| | コネクタ-接続部のガタ・損傷 | | |
| 充電器 | 充電機能 | | |
| | コネクタ-接続部のガタ・損傷 | | |
| | ランプの点灯 | | |
| | コードの損傷 | | |
| | ファンの回転・異音 | | |
| ブレーキ | 駐車ブレーキの効き具合 | | |
| ハンドル | ハンドルの操作具合・緩みガタ | | |
| | 左右の操舵角度 | | |
| | ステアリングシャフトの取付け具合、損傷 | | |
| | ステアリングシャフトの軸受け部のガタ | | |
| シート | シートの汚れ及び損傷 | | |
| | 取付け状態 | | |
| | ストッパーの変形・摩耗 | | |
| タイヤ | タイヤの亀裂・損傷 | | |
| | タイヤの溝深さ・以上摩耗 | | |
| ホイール | ボルト・ナットの緩み | | |
| | ホイールの損傷 | | |
| サスペンション | ボルト・ナット類の緩み | | |
| | サスユニットの損傷 | | |
| | サスペンションの作動具合 | | |

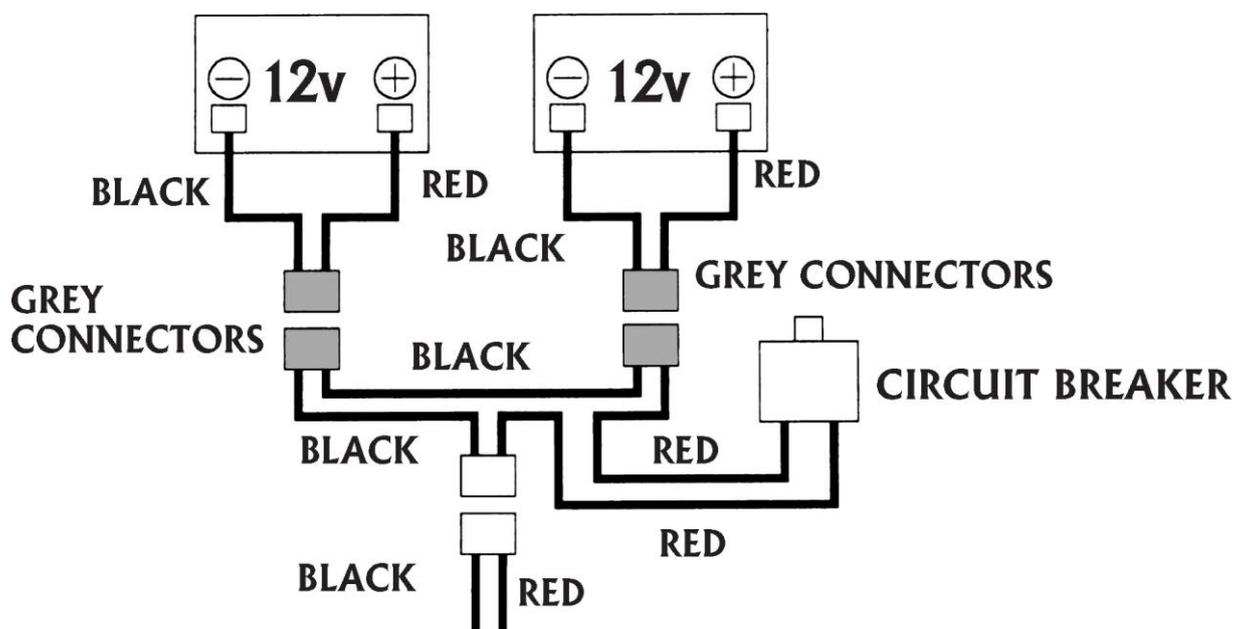
困った時は

| 症状 | チェックポイント、対処方法 |
|----------------|--|
| 発進しない | 電源スイッチが「切」になっていませんか？ ↓ 電源スイッチと「入」にして下さい。 |
| | 電磁クラッチが「解除」になっていませんか？ ↓ 電磁クラッチを「ロック」にしてください。 |
| | バッテリー容量がありますか？ ↓ バッテリーの充電を行ってください |
| | 充電プラグは抜きましたか？ ↓ 充電プラグを抜いて下さい |
| | アクセルレバーを強く握り込んでいませんか？ ↓ 安全装置が働いて発進しません。一度アクセルレバーから手を離し、再び軽く押し下げて下さい。 |
| | 駐車ブレーキを掛けていませんか？ ↓ 手動ブレーキレバーを握って放し、駐車ブレーキを解除して下さい。 |
| バッテリー残量計が消えている | バッテリー残量計が少なくなっています ↓ ただちに充電を行ってください |
| 急に停止した | ↓ |

| | |
|-----|---|
| | <p>車輪が溝にはまっていますか？</p> <p>急な坂道を長時間走行していませんか？</p> <p>↓</p> <p>人手を借り、車輪を溝から出して下さい。</p> <p>電源スイッチを「切」にし、1分以上停車してから車体後部のブレーカースイッチを押しこんだ後、再び電源スイッチを「入」にして走行して下さい。</p> |
| | <p>電磁波の影響を受けた恐れがあります。</p> <p>↓</p> <p>電源スイッチを「切」にし、再び「入」にして走行して下さい。</p> |
| 充電中 | <p>充電器のランプが点灯しない</p> <p>↓</p> <p>充電器のヒューズ切れまたはAC100Vの抜けまたは故障が考えられます。</p> |

回路図

バッテリー配線図



諸元表

| 項目 | 諸元 |
|--------------|--|
| 製造業者の型式 | FR168-4S2bJ |
| 製品の呼び方 | ハンドル型電動車いす |
| 寸法（全長×全幅×全高） | 1,195×690×940mm |
| 重量（バッテリー含む） | 85.5kg |
| 駆動モーター | 24V DC ブラシモーター 4.5A、350W、4600r.p.m. |
| バッテリー | 12V×2、36AH |
| 充電器 | AC 入力、90V~230V DC 出力、24V 4A PSE 適合 |
| タイヤ前後 | 10" PU ノーパンクタイヤ |
| 制動方式 | 後輪：モーター発電制動&電磁ブレーキ 前輪：停止スイッチ付き手動内拡式ブレーキ |
| 操舵方式 | ループハンドルによる前輪操舵 |
| 制御方式 | アクセルレバーによる無段階電子制御方式 |
| シート構造 | 肘掛跳ね上げ式 |
| 最高速度 | 前進：1~6km/h 後進：1~3km/h |
| 実用登坂角度 | 10° |
| 連続走行距離 | 約 32km |
| 最小回転半径 | 1200mm |
| 段差乗越え高さ | 約 80mm |
| 溝乗越え幅 | 約 120mm |
| 使用車最大体重 | 130kg |
| 製造国 | 台湾 |

保証書

1. 保証の内容

お買い上げいただいた弊社製造の車両を構成する各部品に、材料又は構造上の不具合が起きた場合、この保証書に示す、期間と条件に従って、これを無償修理いたします。（以下この無料修理を保証修理といいます。）保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。なお取り外した部品等は弊社の所有となります。

2. 保証期間

| | |
|--------|---|
| 保証期間 | お買い上げ日より 1 年以内。 バッテリーに関しては、お買い上げ日より6ヶ月以内。 |
| 保証対象部品 | 車両を構成する全部品、ただし下記を除く ・ 消耗部品および油脂類 ・ 別扱い保証の部品 下記の消耗品の交換は、実費を頂きます。 ブレーキパッド・ブレーキシュー・ランプ・バルブ類・ヒューズ モーター類のブラシパッキン類・ゴム類 などこれに類するもの。 |

3. 別扱い保証

次に示す部品は、この保証書とは別にそれぞれの部品メーカーが定めた保証基準に従って保証されます。お買い上げいただいたクラフトシニアカー取扱店にご相談下さい。

- ① タイヤ・チューブ ② アクセサリー用品等

4. 保証できない事項

次に示す事項は保証修理致しません。

- ① 保守、整備の不備又は間違いに起因する不具合
- ② 取扱説明書に示す取扱い方法と異なる使用及び弊社が示す使用の限度（最大積載量・乗車定員・その他）を超える使用に起因する不具合
- ③ 法令に違反する改造及び弊社が認めていない改造（車高の変更・灯火器の減、増設・バッテリー容量の変更など）に起因する不具合
- ④ レース・ラリー等による酷使あるいは一般に車両が走行しない場所での走行に起因する不具合
- ⑤ 純正部品及び指定する油脂類以外の使用に起因する不具合
- ⑥ 時の経過で発生する不具合（塗装面などの自然退色・メッキ面などのサビ・その他）
- ⑦ 機能上影響の無い感覚的な現象（音・振動・オイルのにじみなど）
- ⑧ 地震・台風・水害などの天災、事故及び火災に起因する不具合

⑨煤煙・薬品・鳥糞・塩害などに起因する不具合

⑩後記5の『お客様にお守りいただく事項』を守らなかったことに起因する不具合

2 次に示す費用は負担いたしません

- ① 法令に定められた継続検査に伴う点検整備の費用
- ② 点検・清掃及び法令で定められた定期点検整備の費用
- ③ クラモトシニアカー取扱店以外での修理費用
- ④ 使用により消耗した部品及び油脂類等の交換補充の費用
- ⑤ お車を使用できなかった事による不便さ及び損失など（電話代・レンタカー代・休業補償・商業損失など）
- ⑥ この保証書に示す以外の費用・補償など

5.お客様にお守りいただく事項

お車を安全快適にご使用いただくためには、お客様の正しい使用と点検、整備が必要です。次のことを必ず守ってください。
守られていない場合には、保証修理をお断りすることがありますのでご承知下さい。

- ① 取扱説明書に示す取扱い方法に従って使用すること
- ② 日常点検を実施すること
- ③ 法令及び弊社の指定する点検整備を実施すること
- ④ 定期交換部品、及び油脂類などを指定どおりに交換すること

6. 保証の発行

この保証書は、お買い上げ日と、車体番号を記入する事によって有効となります。

7. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、事前にクラモトシニアカー取扱店にご連絡頂いた上、お車とこの保証書を、クラモトシニアカー取扱店へお持ち下さい。
これにより保証修理を致します。提示されない場合は、保証修理いたしかねます。

8. 保証の適用

この保証書は、日本国内で販売し使用される車両にのみ適用いたします。従って海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が打ち切りとなります。
この保証書は、本書に示した期間と条件のもとに無償修理をお約束するものです。従って保証期間経過後に発生した不具合については、この保証書に基づく保証修理の適用はありません。

保証登録票

この保証書は、保証記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。

下記期間中に故障が発生した場合は、この保証書を提示のうえ、クラモトシニアカー販売店に修理をご依頼ください。

保証書は再発行致しません。

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 品名 | クラモト シニアカー FR168-4S2bJ |
| 製造番号 | |
| 保証期間 | お買い上げ日より1年以内 バッテリーはお買い上げ日より6カ月以内 |
| お客様名 | |
| 取扱店名 | |
| お買い上げ日 | 20 年 月 日 |



発売元 株式会社クラモト

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北1-14-2

03 (3994) 2861

2013年2月25日発行